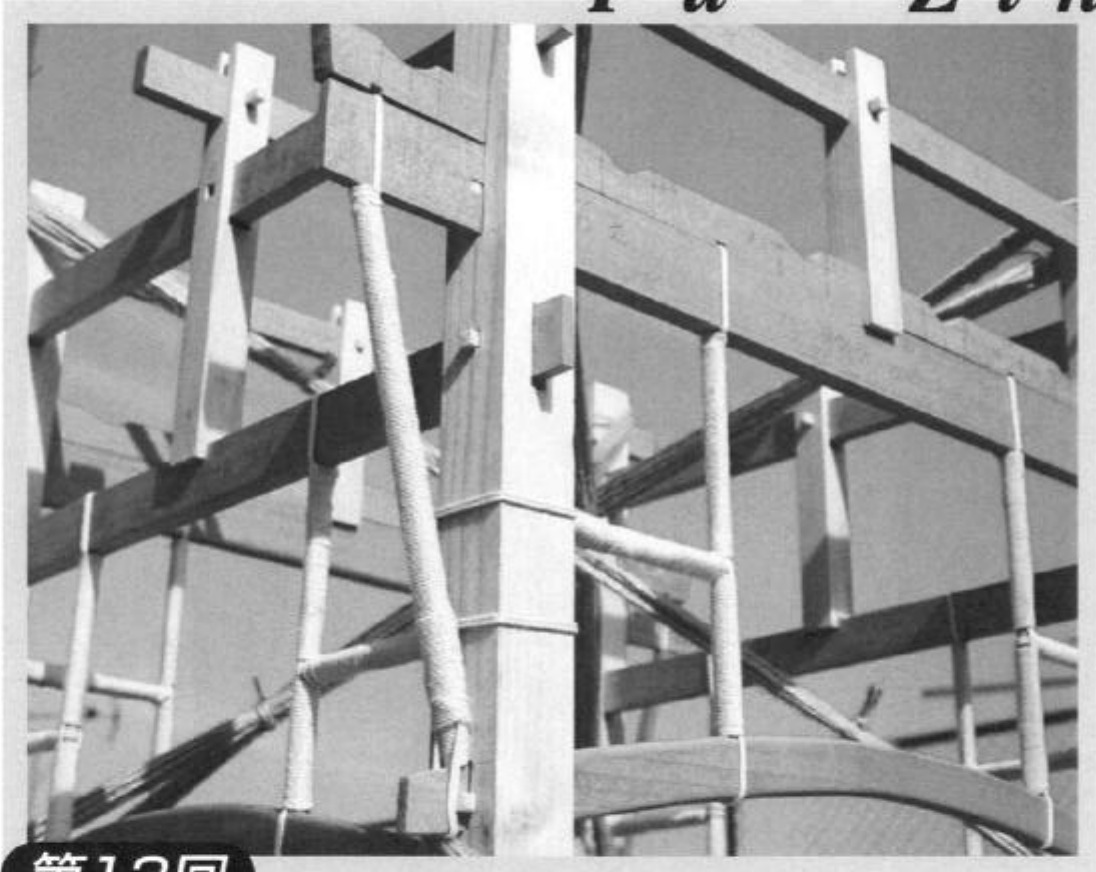


風人

F u - Z i n



第13回

# NPO博多の風

## フォーラム

報告

- 大庭宗一の博多熱風塾 今日だけのステージ版
- 山笠山台ミニチュア完成までの軌跡

# 第9号

平成17年4月発行

# 第13回

# NPO博多の風 フォーラム開催!

去る平成16年10月24日(日)に博多部の明治安田生命ホールにて「第13回 NPO博多の風フォーラム」が開催されました。第一部は「第4回祭童子集まれ!楽文コンテスト」の表彰式が行なわれました。そして、第二部では「大庭宗一の博多熱風塾 今日だけのステージ版」が大庭理事長、富永倫子さん、そしてスペシャルゲストに沢田幸二さんを招いて行なわれました。普段は聞けないラジオの裏話など、会場は笑いに包まれていました。



こんにちは大庭宗一です。こんにちは富永倫子です。  
今日は「大庭宗一の博多熱風塾 今日だけのステージ版」をお送りします。  
富永..なんか今日は違いますよ。だってたくさん人がこっちを見ていんですもん。  
大庭..ありがたいと思わなきゃ。富永..でも、足を広げられないじゃないですか。  
大庭..なんていうことを言うんですか、あなたは。  
富永..でも、今日はオンエアじゃないんで好きなことが言えるのが嬉しいですね。

いらっしゃるので「大切なもの」というテーマでいきますか。  
大庭..いいですね。私も今度、博多区の中学生フォーラムのコーディネーターをやるんですがその時のテーマも実は「大切なもの」なんです。500人くらいの中学生が会場に集まるんですが、壇上の人間だけが納得してもだめで、その話を聞いている全員が、それぞれに自分にとっての大切なものは何だろうと考えてもらうことが大切なんです。今日もそうですが、会場にいらっしゃる皆さんがそれぞれに自分の大切なものを考えてもらえばいいですね。

大庭..そうですね。富永さんの爆弾発言も出てきますよ。我々の番組は、打合せというのは、ほとんどなしでやってますからね。何を話すかの大きなテーマだけ決めておいて、本番に入るの、どこでどんな話が飛び出すか分らないというのが面白いんですね。

富永..反対に、お寄せいただいたいろいろな話の中でこちらが「そうなんだ」と教えられることも多いんですね。  
大庭..そうですね。ところで富永さんの大切なものは何? 物に金じゃないでしょうね。  
富永..お金。  
大庭..それはもういいって。  
富永..でも、大事ですよ。  
大庭..それはそうだけど、お金で大事なものはその使い方ですよ。大体、金持ちほどケチな人が多いんですよ。  
富永..そうそう、絶対におこつてくれませんよ。どうせ、死んだらあの世までお金は持つていけないですからね。  
大庭..いや、私の知っているあるケチな爺さんは、あの世まで金を持っていくと言っていましたからね。でもそういう心貧しい人は、最後には幸せではありませんよ。私は54歳になりましたが、今大切なのは健康と時間ですね。  
富永..健康ですか? その割には、お酒は毎日飲んでますよね。でも飲まなくなったら、逆に大変なのかな。  
大庭..飲まなくなったら倒れると思うよ。あなたはお金とか物以外に大切なものは何ですか?  
富永..あとは、偉い人ですかね。回りそんな人を持つておくことは大事ですね。  
大庭..バカじゃないですか? 何



を基準に偉いというんですか(笑)  
富永…まず、権力。そしてお金、それから地位。この3つがある人に「お願い」と言えば大丈夫じゃないですか(笑)

大庭…あなたは本当に最低な人やね(笑)。でも大事なものは、それをどうやって認めてもらうかでしょう。

富永…ドキッ。

大庭…あなたがドキッですか。あたりまえのことやないですか。それでは、ここでゲスト呼んでみましょう。沢田幸二さん。

沢田…こんにちは、こんにちは、沢田幸二です。ところで、大リーグ。ポストン・レッドソックスが今日、勝ちましたよ。

大庭…そうですか。やっぱり流れはレッドソックスですかね。

沢田…でも言っているんですか。所

詮、レギュラーシーズン2位のチームですよ。再三再四言っているんですよ。大リーグであつてもおかしいと。所詮は2位のチーム、レギュラーシーズンではヤンキースに負けているんですよ。そこがワールドシリーズにいつていいのかと。西武ライオンズがあつて2勝して逆転日本一になるようなものですよ。これは、どうですか。

そしたら、すぐ来るんですよ。うちの番組は、「えらそうなことを言うな」と。ここが熱風塾と違うところでね、うちの番組は、「お前は何か」と。

大庭…富永…(笑)  
沢田…倫子ちゃん、今日のチャシ。十年前の写真らしいじゃないですか。(会場から拍手と笑)

富永…なんで、ここで拍手が来るんですか。だって知らなかったらコレが最近の写真かなと思つてもらえるじゃないですか。

沢田…ここがまた、RKBのあざといところだね。うちは番組表を作る度に、写真を振り直すんですよ。

富永…そんなところに予算使うからですよ。うちはちゃんと貯金してからです。

大庭…でも、局は違うんですけど、沢田幸二と富永倫子は昔から結構、親しいんですよ。

富永…いつも大変かわいがつてもらつてます。

沢田…全然かわいがつてないじゃないか。キミは私が夜の番組やつていたときにウラ(対抗番組)でやつてたじゃないか。

富永…だって、落とされたんだもん。「パオーンほくらラジオ異星人」という沢田さんがやつてた深夜番組ですけど。DJキヤルを受けて落とされたんですよ。

沢田…エッ、それは知らぬ存せぬですよ。  
富永…それで、対抗番組のRKBの「ハイ・ハイ・ハイ」という番組のオーディションを受けたら受かつたんですよ。それでレベルが解つたんですよ。やっぱり本物が分かる放送局はRKBだつた。

沢田…なんていうことを言うんですか、ひとの局をいんちき放送局みたい。でも、ボくらRBCが一番だとか言いながらも、受けるときはどこでもいいんですよ。受かりさえすれば。ボクもここだけの話、第一志望はRKBだつたんですよ。私のとき、試験がなかつたんですよ(笑)。

でも楽しい番組ですね、熱風塾は。いつも大変でしょう。ネタとか、毎日テーマを決めて。

富永…大体、大庭さんが決めてくださつてくれるんですよ。

大庭…実はボクは放送作家なんです。

富永…ハハハ。

沢田…大庭さんは、こんな風に一見、豪放磊落に見せながら、実はとても繊細な方で、分厚いノート

なんかに入念に色々メモさされているんですよ。

大庭…そう、僕は何でも持つていきますよ。無いのは貯金通帳ぐらいで。

富永…そんなものは大庭さんが持つてたら大変じゃないですか。ちゃんと奥さんが持つていないと。

沢田…でも本当に入念な仕込みの元に収録されているんだと思えますよ。

大庭…パターンというのはいくらとあつたほうがいいと思うんですよ。富永さんと熱風塾をやらせて

いただきながら、RBCでは、月曜から金曜の12:00から16:00まで沢田君がやつている「パオーン」で、水曜日に沢田君とやつているんですよ、これまた、色んなものをいっぱい吸収して、これが熱風塾に繁栄できるんですよ。

沢田…大庭さんは必ず、二日酔いでいらつしやるんですよ。いつも火曜日の夜は飲んでいらつしやるんですよ。

大庭…なぜか、火曜日の夜にいろんな人が来たり、飲みにいったりするんですよ。

富永…それはきつと「パオーン」を潰そうと思つていらっしゃるんですよ。

大庭…バカな、そんなことはないよ(笑)。  
沢田…別に潰れてもいいけど、一度潰れている番組だし、局の都合で復活しただけだし(笑)。

大庭…打合せをした後、番組の前にごはんを食べるんですよ。二日酔いになると、ご飯を食べると酔いがまわつてくるんですよ。それで、沢田君に「ちよつと眠たくなつてきた」と言う、「またですか。いい加減にしてください」と怒られるんですよ。でも、感心なことに番組が終わる頃にはシヤキツとするんですよ。

沢田…遅いでしょう。それでは、4時間あるんですから、番組は、それが3時40分ぐらいになつて、あと20分しかないじゃないですか(笑)。

大庭…しかし、ラジオには展開とつうのがあるでしょう。富永さんともそうだけど、沢田君ともそうで、話がどんどん広がつていく。それがラジオの面白さですよ。台本なしで、打合せなしで。どんな話が出てくるかは、出たとこ勝負なんです。そういう形のラジオ番組というのがいっぱいあります。

これからも沢田君を頂上に僕らも頑張つて、もつともつと面白いラジオ番組を提供していきたいと思つていますので、これからもよろしくお願ひします。

沢田…テレビもいいですけどラジオの楽しさを今日はわかつていただけたんじゃなかないかと思つています。

富永…本当に今日はお付き合いいただきまして、ありがとうございます。

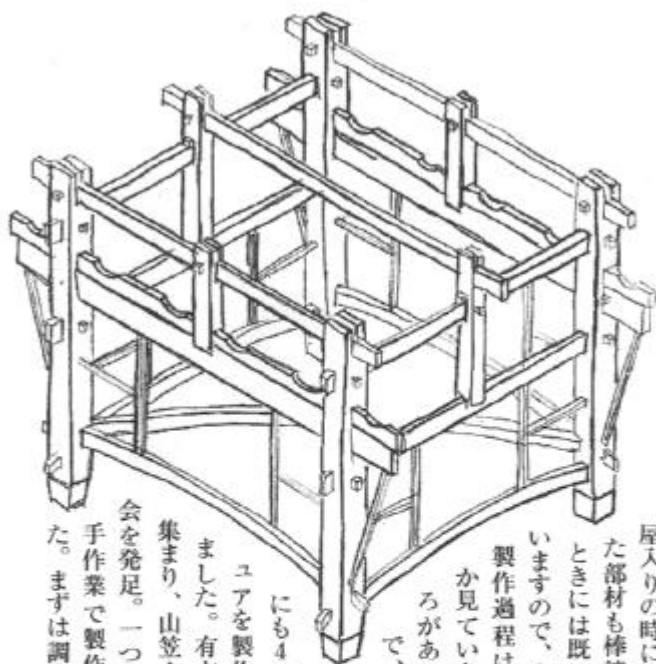
(天久保道之進)

# 山笠山台ミニチュア完成までの軌跡。

2005年4月17日の「第14回 NPO博多の風フォーラム」において 博多祇園山笠山台製作事業運営部会が約3年の月日をかけて製作を進めてきた山笠台ミニチュアがお披露目される。今回は山台製作事業運営部会の世話人・待永光之氏に話を伺いました。

現在、山笠が直面している問題の一つに山大工さんの後継者不足という事があげられると思います。複数の昇山や飾り山を掛け持ちで受け持っている山大工さんもいらっしやいますし、山大工さん自身の高齢化という

問題もあります。寺社仏閣の宮大工と通じるものもありますが、釘を一本も使わずに組み上げ、山笠独自の構造をもっていたりと、山大工さんの勘と経験によるところも多く、実際その組み立て方法の多くが謎でした。小屋入りの時にはバラバラだった部材も棒締めをおこなうときには既に組みあがっていますので、山台そのものの製作過程は山大工さんしか見ていないようなところがありました。そこで、我々NPO博多の風では自らの勉強の為にミニチュアを製作することになりました。有志のメンバーが集まり、山笠山台製作運営部会を発足。一つ一つのパーツを手作業で製作をすすめました。まずは調査したデータを



基に、CADで図面を作成。材木店やホームセンターで材料を購入し、知り合いの会社や施設にも協力をお願いして、材料を加工。その後は事務所に集まって月2回、3回のペースで作業を進めていきました。非常に長いスパンでの作業で、スケジューリング調整や作業場の確保など苦作業を進める中で興味を持った

## 山台制作のあゆみ

■2002年2月  
「博多祇園山笠 山台製作」運営部会発足  
●長期目的：山大工後継者育成 山笠山台製作  
●初期3ヵ年計画：資料・情報収集、図面作成及びデータ化、ミニチュア作成

■2002年4月～2003年9月(毎月1回)  
資料・情報収集  
山笠台・山小屋調査→図面作成

■2003年10月～2004年1月  
図面調整  
部材数量仕上  
材料買出し

■2004年2月(毎月2回)  
工房にて裁断・加工  
墨だし

■2004年3月～2005年1月  
加工  
鼻環加工開始(10月～)

■2005年2月～3月  
組立  
ろくろ外注  
銅がね加工

■主なメンバー  
待永光之・赤星博康・洲上久雄・富川裕文・中川原謙二・岡淳二・土井俊一郎・帆足祐司

■協力  
モンゴロイドアーツ  
ヨシイスタジオ

## 山笠山台とは

山笠発祥の起源には諸説あるが、博多・承天寺の開祖聖一國師が疫病を鎮めるため施願鬼棚に乗り、釘々を巡って祈禱水をまいたという説が有力である。その施願鬼棚が現在の山笠山台になったのではないかと考えられる。山笠山台は毎年「小屋入り」の神事で権田神社の神官からお祓いを受けてから組み上げられる。流によって若干の加工方法や寸法が異なる所もあるが、その製作過程においては釘が1本も使われず木材の組み合わせと縄にて組あげられるのが特徴。「へ」の字や「ハツ文字」といった珍しい部材や構造がある。これらは山台の強度を増したり、外部からの衝撃を吸収する役割も持っている。長い歴史が培った先人たちの知恵である。



ホソ穴の加工など指先に神経が集中する



組上げながら、やすりで調整していく



墨だした材料の裁断。工作の作業は楽しい



材料を購入後、図面を元に墨だしの作業



棒をあわせてみて全体のバランスを調整

実際に製作をすすめる  
と「ここはどうなっている  
のだろうか？」と分から  
ないところもたくさん  
出てきましたし、まだ  
まだ改善の余地はあり  
ます。これはあくまでも  
第一歩であり、さらに  
人形なども作ればと思  
います。これからも  
山台の研究は続けてい  
きますが、ミニチュア作り

町内外の若者達も一人、また一  
人と手伝いに来てくれましたし、  
みんなで意見を出し合いより良  
い方法を考えながら、一つ一つ  
のパーツを作り、それが組みあ  
がってきた時は感動しました。  
木材以外の部材にも力を入れ、  
鼻環は真鍮を削って作成  
し銅がねは銅で作り上  
げました。



ハツ文字縄を掛けるとバランスがとれて、歪みがなくなり、先人の知恵に驚く



で得た知識を子供たちになんら  
かの形で伝えることができれば  
とも思いますし、将来的には1  
分の1の山台をつくることを目  
標に活動を続けていきたいと思  
っています。

当日は、棒締め  
をした状態でお  
披露目されます



旋盤での削りだし



手を切らないように注意



ノミを使ってほその穴をあける



中学校以来の電気ドリル作業にちよっと緊張

# 来風人

## 会員紹介

### 太田 知さん

NPC博多の風 監事

■年齢:53歳

■職業:国家公務員

■土居流 大乘寺前町



私は冷泉町で生まれましたが山笠は他の多くの子供がそうであったように日常生活そのものでした。私が子供の頃は今よりものんびりしていたような気もしますし、山笠が動いている時も櫛田神社の境内で遊んだり、友達と水をかけあったりして遊んでいました。水を被って帰っても山笠の時は母親にもしかられることなく、喜んだのを覚えています。時々キヤラメルが出たりするのも嬉しかったですね。クラスの男子生徒も全員が参加しているとい

うわけではなく山笠に出ているのは半分くらいで、今ではもうなくなっていますが、櫛田流や岡流に出ている友達や西町流の友達らと自分の流の自慢話をしたりもしていました。しかし、中学生になつてくると色気づいたといいますが、多少締め込み姿が恥ずかしいなと思うようにもなり、また部活動の練習とかも中体連の時期と重なり、朝山の時とか、日曜日に当たった時を中心にできていました。昔は今のようには山笠があるから早く帰れるということもなか

ったんじゃないかなと思います。市内の高校を卒業後、東京の大学へ進みまして4年間を過ごしました。本格的に山笠へ参加するようになったのは大学を卒業後、帰郷して就職した時からですね。当時「年休」は年に5日ほどだったと思いますが、入社1年目の時に「山笠なんて休ませてください」と当時の上司に申し出ると、福岡の人間でなかったというものもありますが「入ったばかりで何を言っているんだ」とびっくりされました。確かに、今のようには年休というものがきちんと認められているような雰囲気ではなかったです。入って3ヶ月の人間がいきなり「休みをください」というのも驚きだったと思います。しかし福岡出身の別の先輩が「太田は博多の人間だから山笠の為に1年間精進しているようなものだから行かせてあげて欲しい」とフォローしてくれたので、参加することができました。その時に休みがもらえなかったら、今のようにはなっていないかたかもしれません。それが、20年も経つと、ニュースや新聞で山笠の事がとりあげられると「もうそろそろやね」とか「大変なの？」とか周りに声をかけてもらえるようになり、「この時期太田は忙しいから仕方がないな」というような雰囲気になつていました。その代わり私も会社のみなが休むゴールデンウ

イークの時などに出勤して自己アピールをしながら期間中に休める環境をつくっていききました。そのおかげという訳ではないですが、昨年の博多祇園山笠の上海遠征に一言も「休む」とか言っていないのに「行かないかんちゃろ」と周りが認めてくれて参加することができました。

私の町内も昔は参加する人が少なく、兄が一人で手打ちに行っていた時もあったんですが、少しずつ仲間が増えていき、直会ができるようになった時は嬉しかったですね。隣の町内が直会しているのを見て羨ましかったし、「いつかうちの町内も」という夢もありましたから。「俺が一人になってでも手打ちに行く」という気持ちはずっとありました。ある意味山笠というのは厳しい世界ですが、その中でも羨しみや面白さはあります。人が人を育てるといいますか、その組織にいる人が魅力的であれば自然と人は集まってきました。そんなことを感じ取った人が今でも山笠を続けている仲間ということでしょうね。そんな仲間と山笠をつづけるためにも、私自身も日々精進のくりかえしです。

博多の風の活動の中では、山台製作に興味があります。以前山笠を作る時のロープの閉め方を見たキューバ人が一回見ただけでその結び方を理解したのは驚きでした。しっかりと固定するという理屈は同じとはいえず、日本人の俺もよくわからんところをこいつが？とちょっと関心もしました。普段は外から見ていることを実際にやってみるといのは結構大変で、自分の町内の人間も山台製作運営部会に関わっていますし、私も興味があります。博多の風として関わっていくなかで、風そのものの存在感ができてきて、個人としては関われなような人や組織との出会いは刺激的ですし、いろんな所に対して話ができるようになってきているところは嬉しいところですね。

お年寄りから子供まで集まっているのが町内と思いますし、私の立場からいろいろな提案をしていきたいと思っています。たとえば、15日の追山が終わって役員が挨拶回りなどに出ている時へ出勤する者とはばらばらになって終わるのは寂しい気がしたので「それなら、みんなで掃除しようや。今年の山笠への感謝の気持ちを込めて、また来年元気で会えるように町内を掃除しよう」と提案しました。そういう提案を若い人からもどんどん出して欲しいなと思います。そうなるのと、「俺も負けてられん」と思うし町内も流も活性化していくと思います。「好きこそものの上手なれ」といふのを好きになつてもらいたいと思いますね。(中山肇)

## 博多のこころ、 上海を駆ける！



新聞やテレビでも大きく報道されましたが、昨年9月18日より22日にかけて博多祇園山笠が上海遠征を行いました。人口1500万人とも言われる大都会・上海の、最も繁華街だという南京路に博多の男たちがヤマを走らせたのです。参加したのは各流の精鋭による混成部隊、約300人。締込みに水法被、龍を表現した勇ましい上海版の山笠を囲み、男たちが競うようにヤマを走らせていきます。「オイサ、オイサ」の声が南京路に響くと、その勢いに沿道の大きな歓声と拍手が混じります。あつという間の1キロでしたが博多の心を上海の方に披露できたと思います。(鳥越毅)

## 第6回はかたの町クリーン作戦実施

■平成16年11月21日

前回「雨天中止」となり、今回は是非実施したいという皆の気持ちが出来たのか、秋晴れの下、開催することが出来ました。日頃からお世話になっている博多の町に少しでも貢献していきたいという考えのもとこの「博多のまちクリーン作戦」を年二回実施しております。この気持ちで地域に根付きより良いまちとなればと考えております。当日参加して頂いた約100名の皆様、有難う御座いました。(村岡昌哉)



## 第7回はかたの町クリーン作戦

■平成17年5月22日

■8:30集合(11:30解散予定)

■集合場所：冷泉公園(南側の角)

## 第14回NPO博多の風 フォーラムのお知らせ

日時 平成17年4月17日(日)

開場 12:30/開演 13:00

場所 明治安田生命ホール

(明治安田生命ビル8F)

□第一部

「NPO博多の風」事務局だより  
活動報告及び今後の活動の予定

□第二部 講演

講師：松田浩氏(アビスパ福岡監督)

●演題：松田浩的博多よもやま噺（笑）

## NPO博多の風ホームページ

<http://hakatanokaze.jp>

活動報告はもちろん、幹事紹介なども更新していきます。ご意見・ご感想をお待ちしています

## NPO博多の風賛助会員募集のお知らせ

我々「NPO博多の風」の主旨をご理解いただき、活動に賛同いただける方を広く募集しています。

お知り合いの方をご紹介ください。

お問合せ：「NPO博多の風」事務局(担当・福田)

TEL: 090-1349-5982

FAX: 092-263-7188

## ～編集後記～

3月20日 10時53分  
その時は自宅のトイレにいました。ドスンという音とともに、激しい揺れに襲われ、20秒程した後には部屋に出ると皿が割れ冷蔵庫の中身も散乱してしまいました。

家にいた家族にもケガもなく、昔の避難訓練で唯一覚えていた火元の確認だけを行い玄関を開けました。今まで安全対策など考えた事もなく、非常持出袋などの用意もありませんでした。突発的な出来事に対応できらるようするには、起こりうる事を想定して一つ一つコミュニケーションをしていく事が必要になります。今回の経験を活かすべく地震や火事などの災害が起きた時の対応について家族や地域などで話し合い、日頃の準備の必要性を強く感じました。

「NPO博多の風」

広報事業部・中山 肇

## NPO博多の風のあゆみ

平成 10年9月	任意団体「博多の風」設立 代表：大庭宗一
同年10月	第1回博多の風フォーラム開催 講師：松本龍氏（衆議院議員）
11年4月	第2回博多の風フォーラム開催 講師：倉田 眞氏（毎日新聞編集局長）
同年10月	第3回博多の風フォーラム開催 講師：沢田幸二氏（九州朝日放送アナウンサー）
12年4月	第4回博多の風フォーラム開催 講師：坂口卓司氏（FK8毎日放送アナウンサー）
同年5月	大庭宗一と博多の風の仲間たち監修 「山笠の風」出版 同出版記念パーティ開催
同年5月	NPO（特定非営利活動法人）認証取得 理事長：大庭宗一
同年6月	NPO博多の風として登記
同年10月	第5回NPO博多の風フォーラム開催 講師：緒方邦博氏（プランニング秀巧社社長）
同年11月	山笠交流会館建設提言書、福岡市長へ提出
13年4月	第6回NPO博多の風フォーラム開催 講師：後藤豊彦氏（福岡銀行相談役）
同年5月	作文コンクール 「第1回 祭り童子集まれ！楽文コンテスト」 実施（5/1～7/31）
同年7月	「NPO博多の風フォーラム」 福岡県21世紀記念事業認証取得
同年10月	福岡県21世紀記念事業 第7回NPO博多の風フォーラム開催 講師：後藤久義氏（博多祇園山笠振興会会長） 永吉和幸氏（毎日新聞社福岡総局長） 緒方邦博氏（プランニング秀巧社社長） 「第1回 祭り童子集まれ！楽文コンテスト」
14年4月	第8回NPO博多の風フォーラム開催 講師：安達一成氏（毎日新聞社記者）
同年4月	「博多の風ホームページ」開設
同年5月	第1回 クリーン作戦開催
同年6月	「探訪!! 博多祇園山笠 追山コース」開催
同年7月	作文コンクール 「第2回 祭り童子集まれ！楽文コンテスト」 実施（6/1～9/2）
同年10月	「博多の風広報紙：風人」発行
同年11月	第9回NPO博多の風フォーラム開催 講師：高橋慶彦氏（元プロ野球広島東洋カープ）
同年11月	第2回 クリーン作戦開催
15年4月	第10回NPO博多の風フォーラム開催 講師：永守良孝氏（FK8毎日放送株式会社 取締役）
同年5月	第3回 クリーン作戦開催
同年6月	「第2回 探訪!! 博多祇園山笠 追山コース」開催 作文コンクール 「第3回 祭り童子集まれ！楽文コンテスト」 実施（6/1～9/2）
同年10月	「博多の風広報紙：風人」発行
同年11月	第11回NPO博多の風フォーラム開催 講師：奥田智子氏（九州朝日放送アナウンサー）
同年11月	第4回 クリーン作戦開催
16年4月	第12回NPO博多の風フォーラム開催 講師：ワー・C・リー氏（在福アメリカ領事館首席領事）
同年5月	第5回 はかたの町クリーン作戦（雨天中止）
同年6月	「第3回 探訪!! 博多祇園山笠 追山コース」開催
同年7月	作文コンクール 「第4回 祭り童子集まれ！楽文コンテスト」 実施（6/1～9/2）
同年10月	「博多の風広報紙：風人」発行
同年10月	第13回NPO博多の風フォーラム開催
同年11月	第6回 はかたの町クリーン作戦開催

NPO特定非営利活動法人



〒812-0027  
福岡市博多区下川 壘町8-16-302  
FAX 092-263-7188

E-Mail npokaze@junno.ocn.ne.jp  
URL http://hakatanokaze.jp

### 「NPO博多の風事業概要」

- 博多の町の伝統文化を次世代に引き継ぐ啓発事業
- 「博多の風フォーラム」の定例開催
- 博多の町の地域振興活動  
「探訪!!博多祇園山笠 追山コース」事業
- 博多の町の地域清掃活動「クリーン作戦」事業
- 「祭り童子集まれ！楽文コンテスト」事業
- 山笠山台の技術継承活動事業
- 博多祇園山笠振興に関する活性化事業のお手伝い
- 青少年スポーツ振興に関する支援・協力事業

題字：新井光宗

